



つづく つながる 夢を育てる学び舎
国立二小だより

令和6年(2024年)1月9日
国立市立国立第二小学校
校長 内田 辰彦

新年にあたって

校長 内田 辰彦

年が明け新しい年、令和6年・2024年が始まりました。冬休みの静かな校庭には、実の成る樹木にたくさんの野鳥が姿を見せています。メジロ、シジュウカラ、ヤマバト、アカゲラ、ヒヨドリなどの姿が見られます。改めて二小の校庭は豊かだなあと感じさせられます。今年は辰年、草木が成長して形が整う様子の年回りだそうです。よい年になることを期待します。

昨年末のことですが、学校に2つのニュースがありました。1つは報道でもされた、大谷翔平選手が日本の小学校にグローブのプレゼントをします、ということです。二小に届いたのは12月26日なので、冬休みに入ってしまう、子供たちへの紹介は3学期の始業式になります。大谷選手から「野球しようぜ。」というメッセージが添えられていました。今日から各学級で実際に見たり使ったりしてもらう予定です。そして、大谷選手のメッセージのように、このグローブを使って実際に野球をして、野球を楽しめる機会が作れるといいなと思います。

もう1つは、第4回SDGs全国子どもポスターコンクールで国立第二小学校が学校賞の第1位となったことです。夏休みに4年生以上が取り組んだSDGsのポスター製作について、応募した多くの学校の中から二小が選ばれました。応募した作品数とともに内容についてもよく考えて製作しています、という評価をいただきました。この作品展には、個人での入選作品も多く選ばれました。二小では昨年度に引き続き、この取り組みを継続してきましたが、その成果が認められ大変うれしいニュースとなりました。

さて、今年は現在建設中の新しい校舎が完成する予定の年です。工事中の校舎は現在3階部分をつくって、だんだんと完成する姿が分かるようになってきました。今年の11月末には完成する予定で、12月の終わりには、新しい校舎への引っ越し作業を行い、ちょうど1年後には新校舎で3学期を迎えることになっています。

校舎が変わることに伴って、この校舎や校舎の周りの敷地で行っている「新しい校舎につなぐ学び」もそれぞれ最後の季節を迎えることとなります。冬にやること、春にやること、夏にやること、秋にやることはそれぞれ、これから迎える季節が、この校舎と校舎の周りでできる最後の季節となります。特に植物や昆虫、冒頭の野鳥に関することなど、自然相手のことは今の状態でできるラストシーズンになります。そのことを念頭に置いて、計画的に学びを進め深めていきたいと思っています。そして、新しい校舎や新しい校庭に二小の豊かな環境をうまくつなげていけるようにしたいと思います。

辰年の年にふさわしく、二小が大きく成長して、子供たちのためになるような形が整っていく、そんな素敵な一年にしていきたいと思っています。



建設中の新校舎の様子